

住民自治協議会だより

第41号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

令和6年度 小田切地区総合自主防災訓練

小田切地区自主防災組織連絡協議会は、10月27日総合自主防災訓練を小田切交流センター体育館で行い、消防団員含め約70名が参加しました。朝8時に住自協役員が対策本部を立上げ、各区防災会長に避難指示を連絡、状況に応じた避難場所に避難しました。避難状況報告後、全員が体育館で安茂里分署によるAED取扱い、応急手当、担架取扱いの各訓練を受けました。当初計画の煙体験訓練は、会場が衆院選投票所と重なり中止しました。



対策本部



避難状況報告



担架取扱い



終了式

福祉委員会お楽しみ会

「小田切かつら祭」 大道芸と歌ごえコンサート

福祉委員会が初企画したお楽しみ会「小田切かつら祭」が10月19日に開催され、約60名が参加しました。大道芸はバナナの叩き売りと南京玉すだれで横澤晃玉さんが名調子で賑やかに楽しませてくれ、バナナの売上金は能登半島大雨災害義援金としました。歌ごえコンサートは神谷ありこさんの弾き語りで、みんなが一緒にかつての歌声喫茶の気分で楽しみました。



人事異動

小田切交流センター

新任 職員 江渡三枝子 (10/1付)

退任 職員 青木 文子 (9/30付)

★小田切八景切り絵展★ 長野県立美術館 9月12日～17日

昨年に続き県立美術館地下「しなのギャラリーA」で小田切八景切り絵展を開催し、公開は13日から17日午後3時までの5日間で327名の入場がありました。今年は小田切八景制定時に頒布された絵はがきと制定50年を記念した歌碑をそれぞれ写真にして展示に加えました。市外や海外からも多くの方が訪れましたが、展示内容は主に市内向けの説明であり、広域には資料不足も感じましたが、全員に小田切地区案内マップを渡し多くの方々に小田切地区を知ってもらう良い機会になりました。



30回を迎えた「和輪話の会」～外出機会創出のアイデアを実行に向けて～

介護予防生活支援検討会として始まり令和元年6月に愛称を「和輪話の会」として9月に30回を迎えました。活動は「和輪の話通信」で随時報告していますが、今回は外出機会創出の今までにでたアイデアを具体的に立案しました。集まる日程を記入したカレンダーを掲示し参加を募って楽しい空間づくりをする「ふうせんの会」とレコードやCDを聴く「奏でるの会」は、「寄って家'S」を会場に10月スタートしました。



令和6年 地域ネットワーク会議 地域包括支援センター安茂里 「あなたのやってみてえなあ!」をカタチに

交流センター体育館で11月15日開催の地域ネットワーク会議は、やってみたい想いをカタチにする企画で住自協、区長会、民児協、福祉推進員、家事



支援会員、サロン代表など70名に声掛けし10区から約40名が参加しました。地区別に8グループが実現に向けた計画は、五右衛門風呂温泉や空き寺コンサート、支障木でログハウスサウナ構想などで、さまざまな想いがカタチにできればと思います。



サロンサミット 活動報告と外出機会づくりの提案

小田切地区お茶のみサロンサミットが12月6日に開催され、10区14サロンから10サロンの代表者が参加し活動報告と意見交換を行いました。開催が10回を超えるサロンもあり、「和輪話の会」から外出機会を増やす幅広い活動案として「寄って家'S」などを会場に、多様な内容を加えたサロン活動事例の提案がありました。



合同運動講座 ラジオ体操第2の実技

保健補導員会といきいきサロン「ふきのとうの会」は合同で9月18日に体育館で運動講習会を開き、参加した12名は市保健所講師の指導でラジオ体操第2の実技を行いました。講座修了後は「寄って家'S」で、お茶とおしゃべりでひと休みしていました。



第2回スマイルボウリング大会 千木公民館2連覇

第2回スマイルボウリング大会が10月13日に開催され、今年は2チーム出場が3公民館あり、10公民館13チームが4ブロックに分かれ予選を行いました。各ブロック1位が決勝に進み、優勝は千木公民館で2連覇、2位下宮、3位上宮、4位吉窪でした。



小田切招寿会 秋の草刈りとマレットゴルフ練習会

小田切招寿会は9月24日、改善センター周辺の秋の草刈り清掃作業を行い、建屋裏全面を覆った蔓を苦勞しながら刈り取り、また、道路に面した樹木の支障枝切りや絡んだ蔓なども整理しました。

10月15日には、マレットゴルフ練習会を犀川河川敷の第一運動場マレットゴルフ場で会員8名が参加して行いました。この日コースが初めての人でしたが、更に11月に同コースで練習しました。



整備された 吉窪城址

吉窪城址保存会

吉窪城址保存会は支所発支援金を活用し、山頂から善光寺平一帯の眺望改善に阻害樹木を伐採し、小田切ダムから落合橋方面まで犀川の蛇行した流れや橋が一望できます。山頂一帯も伐採整備され、石積み跡や土塁などもはっきり確認できます。また、城址登り口には駐車場を新設し20台以上が駐車できます。



「令和6年9月能登半島大雨災害義援金」 日赤長野支部に送金

昨年元旦の大地震に続き大雨災害を受けた能登半島。小田切住自協は各会議や訪れたみなさんからの募金に、福祉委員会お楽しみ会のバナナ売上金7,550円と小田切八景切り絵はがき販売金5,000円を加え23,345円を送りました。

小田切の三角点 旗古山、甲山、城山の3か所

山頂などにあり測量に用いる際、経度・緯度・標高の基準となり、公共事業の基準にも利用される三角点。小田切地区には3か所あり、一番標高の高い小野平の旗古山（標高1166.9m）、千木の甲山（標高844.2m）、本郷の城山（標高619.2m）です。富士の塔には無く600mほど東の山頂（標高961.1m）にあり安茂里地籍となります。



旗古山



甲山



城山



豪雨災害 8/24 夜



路肩崩落 入山小市線（川後）



土砂流出 小川長野線（国見）

長沼水害復興支援PJ 秋野菜贈呈

10/31



三輪ひまわり広場 野菜販売

11/10



「小田切地区人権を考える住民の集い」

12/3



講師 大定院 竹内哲住職

今秋



アレチウリ

白バラ会研修

12/4



ながの環境エネルギーセンター視察

西裾花台団地線バスは元「ぐるりん号」



アケビ

やまびこ

空き巣事件が小田切で起きた。10月29日に平林と川後の2軒で無施錠の玄関や裏の台所の開いていた腰高窓から土足で侵入した。朝8時半から午後1時といくら山でもそれなりに人に出会いそうな時間帯なんだけど。関東で多発の住宅に押し入る闇バイト強盗が連日報道されていた時だけに、今回人的被害が無かったのは何よりだったが、穏やかな明るい農村にとってショックは大きすぎる。